

摂南大学

摂南土木会会報

摂南
土木会

No.35

平成26年10月11日

創立50周年記念号

発行所 摂南大学土木会
〒572-8508

〒572-8508

摂南大学工学部都市環境工学教室内

TEL.072-838-9117

FAX.072-838-6599



CONTENTS

■ 会長挨拶

「土木会創立50周年を迎えて」

会長 新井 栄作 (摂大昭和60年卒)

■ 学科長挨拶

「5年目を迎えた都市環境工学科」

学科長 池田

■ 就任のご挨拶および研究室だより

総会報告 平成25年度 通常総会開催される

■ ご案内 土木会創立50周年記念祝賀会

■ 摂南大学土木会 創立50周年を迎えて

■ 「都市環境システム工学科 建築士プログラム」

(一級建築士受験資格) 認定条件

■ 50年の歩み

■ 教室だより

■ 同窓会報告

■ 技術士会だより

■ 2014年度の就職状況

■ 在学生特集

テーマ「将来、社会貢献するために」

摂南 土木会

土木会創立50周年を迎えて

会長 新井 栄作（乳大昭和60年卒） 専任教授・土木会



土木会会員の皆様には、益々ご健勝で、各方面でご活躍のこととお慶び申し上げます。

摂南大学土木会は、前身である大阪高等土木会が発足1964（昭和39）年から昭和50年まで創立50周年を迎えました。その間本会は1977（昭和52）年には摂南大学土木会への移行も図られました。摂南大学土木会は会員および常務理事の学園関係の皆様からのご支援ご指導をもつて、ますます発展を遂げています。歴代の会長や役員、評議員ら並びに会員の皆様の努力があったからこそ大きな節目を迎えることができました。今後も、会員相互の親睦を図ると同時に勤労を礼賛し会員一丸となってさらなる発展に向けて力強く活動を進める所存です。

さて、国内の建設市場は、政府の掲げる国土強靱化による公共施設や道路、トンネル、橋梁などの老朽化対策の推進や、2020年の東京オリンピック、パワリングリッタ開催に伴う首都圏地域での様々なインフラ整備が予想される一方で、資材価格の上昇や労働者確保の高騰、また労働者不足による工事の遅延など様々な課題も予想されます。改正品確法の成立により将来の担い手の確保が急務となる。国内の建設市場全体としては、さらに良い方向に向かうと考えられます。

海外の建設市場は、発展著しい新興国を中心に、大型インフラ整備が引き続き進むものと考えられます。これからのインフラ整備における土木技術者の役割が期待され、その果たすべき役割が拡大していると考えられます。

最後に、創立50周年祝賀会は11月29日（土）、東淀川キャンパスで開催します。是非とも会員相互の絆をさらに深めるために、会員一人一人の積極的な参加を切望しています。会員の皆様のご支援を深くお願いいたします。皆様とさせていただきます。

5年目を迎えた都市環境工学科

都市環境工学科 教務 頭井 洋



摂南大学土木会会員のみなさまには、平素より本学科の運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。今年4月より学科長を拝命しました。都市環境工学科の活性化に向けて努力する所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

都市環境工学科は、昨年完成年度を迎え、今年は5年目となります。学科改革に伴うカリキュラムの改革も一段落し、次のステップへと踏み出す年になります。昨年からの改善の兆しがあった求人は一段と良くなっています。しかし、受験生の人気は必ずしも高くありません。少子高齢化社会への対応、地震や風水害など自然の脅威に対する備えに加えて、高度成長期に建設された多くの社会資本施設が更新期を迎え、維持管理や長寿命化対策など今後とも土木技術者の役割の重要性が変わりはありません。高校生や高校教員への地道なPR活動が必要と感じています。

学科教員に移動がありました。長きにわたり本学科の発展に多大な貢献をされた海老瀬先生と澤井先生が今年3月に退職されました。海老瀬先生の後任として、生命科学科より八木教授、澤井先生の後任として、同じ生命科学科より石田准教授をお招きしました。八木先生は本学工学部の経営工学科の時代から環境工学担当の教員として活躍され、現在は学生部長の重責も担っておられます。石田先生は、本学科の環境生態学の教員として採用され、その後、

生命科学科の立ち上げに尽力されました。その間も本学科の卒業研究、環境系科目の講義担当をはじめ、エコシビル部の顧問など本学科学生の教育も担当していただけていました。本学科共通準備室スタッフとして長年勤めていただいた立川さんが定年より今年3月に退職されました。立川さんは準備室スタッフや学生のよき相談相手でした。教員一同も様々な形でお世話になりました。立川さんの後任として本場さんが着任され、特任を含む専任教員10名、共同準備室スタッフ3名で学科を運営しています。つき、摂南大学土木会にご協力をいただいている内容を中心に学科の主な動きを紹介いたします。

IAEBEに関しては、2012年度の継続審査により2018年3月まで6年間の認定を受けています。今年は継続的な改善活動の一環として卒業生アンケートの実施を予定しています。アンケートの実施に際しては、土木会の皆様にご負担をおかけしませんが、なにごとご協力をいただくとお願い申し上げます。摂南大学技術士会および土木会の全面協力のもとに在学生向けの技術士職業講演会を今年6月に実施しました。物アスコ取締役の飯田氏の講演をはじめ木下会長、青木兼氏、新田氏の挨拶、激励など、技術士資格の重要性や技術士の役割等をわかりやすく説明していただきました。9月には、学生向け講演会、現場見学会を開催を予定しています。これらの行事も、毎回、土木会の皆様のご協力をいただいています。

今年には土木会創立50周年の年に当たり、11月には記念祝賀会が本学で開催されます。この機会に多くのお慶びが集つていただき、母校と本学科の発展にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

就任のご挨拶および研究室だより



都市環境工学科 教授
八木 優廣

2014年4月より、海老瀬浩一教授の後任として、都市環境工学科教授に就任しました。学生時代は京都大学で衛生工学を専攻し、教員としては大阪大学環境工学科、摂南大学経営工学科（マネジメントシステム工学科）・生命科学科に所属して、教育・研究に従事してきました。これまでの経験を活かして、本学科での教育・研究に尽力してまいりますと考えていますので、よろしくお願ひ申し上げます。

授業科目に関しては、学部で「環境衛生工学」、「地球環境学」、「環境計画設計製図」、「環境工学実験」等、大学院社会科学研究工学専攻で「水環境工学特講」、大学院創造工学専攻で「環境管理工学演習」を担当しています。

卒業研究では下記のテーマについて指導しています。①高度浄水処理に用いられるオゾン処理に関して、微気管とマイクロバブルによるオゾン溶解効率を実験的に比較検討し、医薬品等の有機物の分解特性についても検討する。②食の安全性・安定供給の方法として注目されている植物工場での水耕栽培に関して、LEDを用いて光の波長の効果を調べるとともに、マイクロバブルの活用の可能性についても検討する。③水

域の富栄養化対策として必要な下水中の窒素・リン除去の方法である二槽式脱窒脱リン法にファジィ制御を適用し、専門家の知識・経験や活性汚泥シミュレーションを活用して、処理性能を向上させる。④環境に関する国際規格におけるISO14000シリーズを中心として、建設業界における環境マネジメントの現状を調査分析し、改善方針を検討する。またスマートシティやサステナブルキャンパスについての調査研究を行うとともに、本学のISO認証取得に向けた研究も行う。

一方、本学運営に関して、2010年度より学生部長を兼務し、課外活動や学生相談、奨学金など学生生活全般にかかわる業務にも従事しています。学生達には、学業に励むとともに本学の教育理念にある「人間力」を向上させるよう指導しています。



【摂南大学土木会】平成25年度決算書・平成26年度予算書

平成25年度決算は表1のとおりであり、監査を経て、平成25年5月の役員会で収支とも相違ないことが認められた。

また、平成26年度予算は表2に示すとおりである。創立50周年記念祝賀会開催のため、収入の部では特別独立金より100万円が繰り入れられており、支出の部では祝賀会の開催費用が計上されている。

表1 平成25年度決算

収入の部		
科目	予算	決算
前年度繰越金	11,143	11,143
正会員入会金 70名	520,000	570,000
広告料	340,000	280,000
預金利息	500	1,059
名簿売上	3,000	0
雑収入	0	177,000
特別独立金より繰入	1,000,000	1,000,000
創立50周年奉賛金	0	115,000
合計金額	1,874,643	2,146,202

表2 平成26年度予算(案)

収入の部		
科目	予算	予算
前年度繰越金		680,664
正会員入会金		570,000
広告料		320,000
預金利息		500
名簿売上		3,000
創立50周年奉賛金		50,000
特別独立金より繰入		100,000
合計金額		1,914,164

支出の部		
科目	予算	決算
事務費等	40,000	42,238
総会費	400,000	379,963
経費追加修正費	30,000	26,400
合同発行費	700,000	711,895
同窓会補助	50,000	20,000
役員会・評議員会費	250,000	100,219
特別講演会	100,000	130,000
庶務費・見舞金	70,000	55,803
雑費	110,000	1,050
予備費	104,643	0
次年度繰越金	0	680,664
合計金額	1,854,643	2,146,202

平成25年3月31日現在 総会費: 400,000円

支出の部		
科目	予算	予算
事務費等		140,000
創立50周年記念祝賀会費		650,000
名簿追加修正費		30,000
合同発行費		800,000
同窓会補助		30,000
役員会・評議員会費		100,000
特別講演会		0
庶務費・見舞金		70,000
雑費		30,000
予備費		64,164
合計金額		1,914,164

平成26年4月1日現在 総会費: 400,000円

ご案内

摂南大学土木会創立50周年記念祝賀会

摂南大学土木会の創立50周年記念祝賀会を下記日程で開催いたします。50周年という記念すべき祝賀会ですので、ぜひご立会ご参加をお待ちしております。

※多くの方がご参加いただきますようお願い申し上げます。

期日: 平成25年11月29日(土) 17:00-19:00

(受付16:00～、集合時間16:45～)

開催場所: 摂南大学環道川学舎 11号館スカイラウンジ 16:00～

〒572-8508 大阪府東淀川区日守1-17-8

観覧料: 3,000円

総会報告

平成25年度 通常総会開催される 代表幹事 中土井 敬史

平成25年度の特別講演会と土木会総会が平成25年11月16日(土)上午9時より、教育工学大センターにて開催され、それぞれ盛況とおりおこなわれました。

特別講演会は、建築設計院(株)土木本部エッジエンジニアリング部長兼部長の長尾隆徳氏による「新設大阪大気候プロジェクト」に用いられる大口気候箱打打ち工法」と題するご講演で新設大阪工務所の大塚浩二プロジェクト担当、同窓会補助 30,000円

役員会・評議員会費 100,000円
特別講演会 0
庶務費・見舞金 70,000円
雑費 30,000円
予備費 64,164円

総会では、新幹線(株)大塚(株)の代表幹事、代表幹事の中土井敬史氏(前大7年卒)の報告をもって、次期(平成27年)の再会を誓って閉会いたしました。

ご来賓の先先生方、各卒業生代表から土木会に対して、ご挨拶と激励のお言葉を賜りました。

会長 長尾隆徳氏(前大80年卒)の挨拶(写真)の中、理事 中土井敬史氏の挨拶をもって、次期(平成27年)の再会を誓って閉会いたしました。

(写真)新幹線代表: 前大7年卒

摂南大学土木会

創立50周年を迎えて

土木会を振り返って

八幡市役所 藤田 孝志
(摂大昭和55年卒相談役)

摂南大学土木会におかれましては土木会発足50周年おめでとうございます。

摂南大学を昭和55年に卒業後、土木会の評議員としてお手伝いをさせていただき役員、会長就任、今日の相談役まで34年間何らかの形で常に土木会に携わってまいりました。今、振り返りますとこれまで土木会が発展してきましたのは歴代会長の多大なご尽力のおかげであると思えます。初代会長であられた故中谷先生、歴代会長である上田傳三先生、井上浩先生、故平城弘一先生、その後、卒業生から会長になられた橋本徳造氏(高専42年卒)、森俊介氏(摂大50年卒)の皆さん方の熱意とご努力に対して敬意を払うと同時にお礼を申し上げる次第です。

また、同様に多くの卒業生のご協力と賛助会員のご厚情に対しても深謝を申し上げます。

最後に新会長の新井氏(摂大60年卒)にはご活躍を期待するとともに、摂南大学土木会が益々ご発展されますよう祈念いたします。

広告主に感謝

特別会員 井上治

今年、会の設立50周年を迎えられ慶賀に堪えません。

これまでの、会の発展は会員相互の親睦を大切に運営してこられた結果と思えます。

その事業の柱は会報の発行ではないかと考えます。会報の第1号は昭和55年3月24日に創刊されました。私は学園に教員として、在職中は会報担当や会長職をしていました。この関係から会報発行財源が常に問題になりました。この費用を卒業生が負担している企業に広告をお願いし、協力して頂きまして、当時はデフレ経済に入り大変な時期に、ご無理を申し上げました。この記念号は三五号になりました。これまでつづけて毎号広告に協力して頂いている企業もありません。先日ある研究会で次回の広告の依頼が来りました。協力させていただきます。この広告主もその一人でした。

私は、在職中にはお礼を送る機会はありませんでしたが、この紙面をお借りして、お世話になりました。この紙面に掲載に謝意を申し上げます。

土木会五十周年の重み

神戸大学フェライチ 取締役理事 西川 朝彦
(高専昭和48年卒 副会長)

土木会の皆様にかかれましては、ご健勝で活躍の事とお慶び申し上げます。最初に土木会50周年をお祝い申し上げます。

私が入学致しました昭和43年の情景を語らせて頂きます。当時、今も変わらぬ菅原神社を境切ると田畑に囲まれた中に学園が発え立っていた。背景には淀川の堤防、そして堤防沿いに太閤村落を眺めることが出来た、その情景が今だ、懐義を覆める。そして、学生達の風貌はと言えば、諸先輩方のスタイルは野合的センスに溢れ、手には丁定製と製図をさりげなく持った姿が大変カッコよく、壁に映ったことを数年前のように思い出される。

さて、思いで深い授業と言えば、今は亡き早城先生の基で学んだ測量実習である。校内から淀川堤防までの広範囲の測量実習であった。今、当時ご指導を仰いだ恩恵、そして、共に学んだ仲間たちを懐かしむ時、50年の流れと、歴史の重さをお伝えせられる。最後に土木会の益々の発展を願う。

摂南大学土木会

50周年を迎えて

都市環境工学科 教授 伊藤 誠
摂南大学土木会会員の皆様、50周年おめでとうございます。

私は1996年に摂南大学に着任して、今年でお世話になって19年目になります。この間、学科は土木工学科から、都市環境システム工学科、都市環境工学科と名称を変えてきました。その間、土木会の皆様には多大なご協力をいただきました。特に、2007年度のJABEE受審、2009年の中期審査、2012年度の継続認定にあたり、摂南会会員による卒業研究審査会の評価をはじめとする教育改善のための様々なご提案は認めるために大きな役割を果たしたと思っています。

土木会では故平城弘一教授が長らく会長を務められていました。平城教授はきわめて厳格な指導で有名な方でしたが、実際は学生思いであり、平城ゼミの卒業生は社会に出てからも良く戻ってきているようにです。最近、本学は画期的な良い教育方針を育ててしまっているのではと反省し、教育方向を転換しなければならぬと考えています。平城先生の厳しい指導を受けたら土木会の皆様は今後ともご協力を向かなければなりません。今後ともどうぞよろしくお申し上げます。

会報の編集に携わった七年間

都市環境工学科 教授 熊野 知司

創立50周年、おめでとうでございます。半世紀という長い時間、卒業生の交流の場として、また、母校との架け橋として活動を継続されてきたことに敬意を表します。

私は、平成13年4月に摂南大学に着任しました。当時の会長であった故平城弘一先生から誘われ、7年間にわたって会報の編集に携わったのが摂南会との出会いになりました。最初の2年間は編集長として、その後、平成19年度までは城野和夫編集長のもとで副編集長として主に事務局的な仕事をいたしました。会報の編集は、当初、顧問の上田伸三先生の指導のもとタブロイド版でしかも自費で編成を行っていました。当時の藤田孝志代表幹事の発案で、より親しみやすい会報とすべく平成17年度発行の第26号から現行のA4版とし、誌面のデザインを外部に委託することになりました。実現するまでに編集委員会という名の議論を行ったことを覚えています。50年という時の流れから比べれば7年はわずかな時間ですが、編集委員の卒業生の皆様や先方と協働できました。東京の民間企業から転身した私にとって摂南大学に溶け込むために必要な7年間だったと思います。最近は大学の運営に関する仕事に忙殺されるものが多くなり、ご迷惑をお掛けしていますが、今後も役員として卒業生の皆様との架け橋になるように活動していきたいと考えています。

摂南大学土木会と私

（次の50年へ）

都市環境工学科 教授 熊谷 樹一郎
摂南大学土木会が創立50周年を迎えられましたことを心からお慶び申しあげます。

私は1999年に20代で摂南大学に採用されました。当時、右も左もわからない若造に故平城弘一先生が誘われられた後は、この会報の編集委員長でした。平城先生はおそろしく土木会の諸先輩方にお会いする機会を私に与えてくださったのでしよう。編集委員会で一通した上田伸三先生は印刷工場の見学にまで連れだってくれたことと記憶しています。熊本相談役、藤田相談役とお会いできたのもこの機会からでした。

その十数年後には、学科長として土木会に関わる機会を得ています。新井会長をはじめとする現役員、評議員のみならず土木会の将来を議論するなかで、さらに視野や見聞を広めていきます。

振り返ると、同窓会組織のすぐれた役割を私自身が体験させていただいてきたことに気づきます。次の50年に向けて、土木会が会員のみならず新たな出会いの機会を創出し、交流を深める役割を担い続けることを切に願っております。

役員を仰せつかって思う事

都市環境工学科 教授 片桐信

摂南大学土木会50周年、おめでと〜ございませう。

私は、2009年に企業から摂南大学に移ってきました。当初、摂南大学土木会がどのような組織であるかもよく知らないままに、故平城先生から役員のご指名を頂きました。平城先生とは、構造力学、酒造りなどを分担させて頂きました。先生の演習問題とその解答例の精密度は、教員素人の私は驚いた次第であります。また、先生は授業の進め方や教授法について、よく相談にのって下さいました。あまり気にならずに、しかし個々の学生を直接指導する気持ちで取り組むようにと励ましてお言葉を頂きました。

土木会に関しては、私はOIB会なのであるから、OIBが役員などの重責を担い、また種々の業務も当然OIBが中心となってやるべきだと思いついておりました。しかしながらそれは間違いで、土木会を通じて卒業生との交流も盛んになるのだと気づきました。今後は、本会が発展し、大学と卒業生との絆をより一層深めるものとなることを期待しております。

卒業生の活躍に期待

都市環境工学科 准教授 石田裕子

摂南大学土木会50周年おめでと〜ございませう。

私は昨年度まで新学科である生命科学科の設立に携わっていましたが、今年度より再び都市環境工学科にお世話になることになりました。今年度は教務担当として、学科の運営に関わっています。

都市環境工学科の強みは、何といたってもOIB組織がしっかりしていることです。都市環境工学科では50年分の卒業生が各所で活躍され、企業様からの信頼も厚く、毎年多数の求人をいただいています。学生たちにとって、企業様や社会に必要とされる現場で働くことはとても幸せなことと思います。昨年度初めて卒業生を出した新学科でも、既存の学科に倣い、OIB会を組織することになりました。

先日、仕事で視察した現場で、元教え子に会いました。これからも、仕事の現場で本学科の卒業生の活躍を見られることを大いに期待しております。

平城弘一先生の思い出

都市環境工学科 准教授 瀬良昌憲

摂南大学土木会創立50周年を御祝い申し上げます。

摂南大学というと、平城弘一先生（2010年逝去）が思い出されます。平城先生との最初の出会いには、遙か昔、1982年3月で、場所はスイスのローザンヌでした。興とコンクリート構造物の疲労に関する国際会議で口頭発表した時でした。私は1998年、神戸大学から大阪工短期大学部（夜間）に転校し、その後、短大の閉校に伴い、摂南大学から大阪工短期大学部（夜間）に転校して、途中中学等で時々お会いして立ち話程度のお付き合いでしたが、25年経過後に同じ職場で働くことになろうとは思っても出来ませんでした。本当に、人の縁はどこでつながるか分からないものだと思惑しました。大学内では平城先生は気さくに話し掛けたいただいた良き先輩でした。その後土木会の会計監査役を海老瀬先生から引き継ぎ、土木会の運営に協力しながら協力させて頂いておりました。また、どういふ通り合わせか、平城先生が担当されていた資格取得に関する大学内の業務や摂南大学技術士会と共催の行事なども引き継いでおります。今後の土木会の益々の発展をお祈り申し上げます。

これからもずっと

都市環境工学科 講師 田中賢太郎

この度、摂南大学土木会におかれましては、創立50周年を迎えられ、まことにおめでと〜ございませう。50年という長期間、土木会があり続けたこと、土木会を支えた多くの方々のご努力に感動しております。

私は、2011年4月着任当初から、土木会と関わらせていただいております。本学科の卒業生（平成13年卒、平成15年修士課程修了）ということも手伝って、学内連絡係という役割を仰せつかっております。それは、卒業生の皆様と学科教職員の方々との中継役と言えらると思います。さらに、年に1回発行している会報作成のサポートや名簿管理のサポートをしています。土木会関係の作業は多々ありますが、大学時代を過ごした学科のためと思えば、まったく苦にならず、逆にやりがいを持って関わらせていただいております。土木会を通じて、卒業生の皆様とお会いする機会が私も多くあるから、刺激を受けて頑張っております。

私は、これからもずっと摂南大学土木会が存続し発展し続けることを思い描いて、微力ながらご協力させていただきたく思います。

道廣一利教授 退職記念講演会と祝賀会のご案内

摂南大学において40年に亘り教鞭をとってこられました道廣一利教授が、来年（2015年）3月31日をもって退職されることになりました。つきましては、下記の通り退職記念講演会が開催されますので、ご案内申し上げます。また、退職記念講演会のあと、先生を囲んだ祝賀会を催しますので、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

ご多用中のところ誠に恐れ入りますが、卒業生や先生と親交の深い方々をはじめ皆様のご来臨をお待ちしております。

退職記念講演会&祝賀会

日時：2015年3月14日(土) pm2:00より(予定) 会場：摂南大学

詳細につきましては、当学科のHP (<http://www.setsunan.ac.jp/civ/>) でご確認ください。(2015年1月頃掲載予定)

問い合わせ先：摂南大学理工学部都市環境工学科 田中賢太郎、道廣 一利

(田中) TEL/FAX：072-800-1143 E-mail：tanaka@civ.setsunan.ac.jp

(道廣) TEL/FAX：072-839-9126 E-mail：michi@civ.setsunan.ac.jp

枝村俊郎先生を偲ぶ ～知的好奇心のすばらしさ～

都市環境工学科 教授 熊谷樹一郎



枝村俊郎先生が去る平成25年4月17日にご逝去されました(享年86歳)。枝村先生は神戸大学を退かれた後、平成6年度から平成10年度まで本学科で土木計測学の教鞭を執られました。退職後も先生の好奇心、探求心は全く衰えることなく、国際情勢や教育・歴史などさまざまな分野への議論をWeb上で展開されるとともに、絵画の個展を開かれるなど、活発にご活動されておりました。平成21年には、80歳を超えながらも地理情報システム学会の学術研究発表大会においてご自身で口頭発表され、論文「縄文遺跡の立地性向」を「GIS-理論と応用」に上梓されています。まさに知的好奇心のすばらしさを体現されたといっても過言ではありません。この論文作成に少しばかりお手伝いできたことが、私自身の財産となっています。

文末となりましたが、ご遺志によって当学科に多額の寄付を頂戴いたしております。誌面をお借りして御礼申し上げますとともに、枝村先生のご冥福を心からお祈りいたします。

「都市環境システム工学科 建築士プログラム」(一級建築士受験資格)認定条件^{※1}

入学年(旧制)	入学年(新制)	学科	「建築士プログラム」認定の条件
2002	14	都市環境システム工学科	平成20年度開講の「建築製図」又は平成21年度から開講の「建築設計製図」を科目履修生として単位取得する ^{※2} 。又は同等の科目を他大学で履修して単位取得する ^{※3} 。
2003	15		
2004	16	都市環境システム工学科	平成20年度開講の「建築製図」を単位取得して卒業する。又は卒業後に「建築設計製図」(平成21年度から開講)を科目履修生として単位取得する ^{※2} 。もしくは同等の科目を他大学で科目履修して単位取得する ^{※3} 。
2005	17		
2006	18	都市環境システム工学科	平成21年度から開講の「建築設計製図」を単位取得して卒業する。又は卒業後に「建築設計製図」を科目履修生として単位取得する ^{※2} 。もしくは同等の科目を他大学で科目履修して単位取得する ^{※3} 。
2007	19		
2008	20	都市環境システム工学科	認定されない ^{※4} 。
2009	21		

※1：一級建築士受験を目的とする「建築士プログラム」認定の条件です。卒業後に、認定を受けて2年以上の実務経験を有する一級建築士試験の受験資格が得られます。

※2：卒業生として、卒業後1年以上の実務経験を有して受験できます。この場合、「建築士プログラム」認定の必要はありません。また、二級建築士合格後、4年以上の実務経験を有して一級建築士試験を受験できます。

※3：卒業後に同等科目の単位取得を行った場合や卒業経験の経路は卒業後へなります。同等科目履修の申請については教務課にお問い合わせください。

※4：建築士試験科目の単位を他大学で取得した場合でも一級建築士の受験資格が得られるようになります。詳しい条件については教務課又は「出願」建築実務者支援センターへお問い合わせください。

※5：2009年度入学生（2010年入学）は都市環境工学科から新設建築士が廃止されました。「建築士プログラム」は認定されませんが、新設建築士の認定により、認定科目の履修と認定0実務経験から二級建築士の受験資格が得られます。

50年の歩み

年代	内容
1962年 (昭和37年)	4月1日 大阪工業高等専門学校設立。機械工学科、電気工学科、土木工学科、建築学科を設置。
1964年 (昭和39年)	大阪工業高等専門学校土木工学科卒業生で組織された高専土木会が発起となり現在の摂南大学土木会の礎となる。
1975年 (昭和50年)	大阪工業高等専門学校を母体に摂南大学を開設。工学部(土木工学科、建築学科、電気工学科、機械工学科、経営工学科)を設置。
1979年 (昭和54年)	三月摂大第一回卒業式の後、土木工学科卒業生の総意に基づいて、新土木会が発足名称を摂南大学土木会と称し、その前身である高専土木会を受け継いで、高専土木卒業生902名、摂大土木卒業生79名、計981名で発足。
1984年 (昭和59年)	創立20周年記念総会があり決算報告、事業報告、事業計画の話し合いがあり、懇親会で親睦を深める。
1989年 (平成元年)	創立25周年記念総会があり、総会以外にも講演会を招き特別講演会な

1975年



1983年

1981年



この度、土木会の創立50周年の節目を迎えるにあたり、「50年の歩み」を編集いたしました。ご覧戴くことを通じて、より土木会へのご理解を賜ることができれば幸甚に存じます。そうした思いを「一次の時代へ礎の50周年」のキャッチフレーズにこめて、新たな次の50年に挑戦してまいる所存であります。

平成26年10月 土木会会長 新井 榮作

1994年 (平成6年)	創立30周年記念総会があり同じく特別講演会や記念祝賀会が実施
1999年 (平成11年)	35周年記念総会があり、新たに卒業会員の為の講演会を行う
2002年 (平成14年)	工学部の土木工学科を都市環境システム工学科に、電気工学科を電気電子工学科に、経営工学科をマネジメントシステム工学科に名称変更 都市環境システム工学科2コース体制(建設システムコース、環境計画システムコース) JABEE受審の方針を決定
2004年 (平成16年)	創立40周年記念総会が母校で開かれた。講演会や記念祝賀会に加え過去の会報のCD-ROMの配布等も行う 都市環境システム総合コースを新設 3コース体制
2007年 (平成19年)	JABEE認定(都市環境システム総合コース) 42009年JABEEの認定中間審査合格
2010年 (平成22年)	理工学部都市環境工学科へ名称変更 都市建設コース、環境計画コース、都市環境総合コース 42012年 JABEEの認定継続審査合格
2014年 (平成26年)	創立50周年記念祝賀会を迎える

現在の会員数

高専900名・摂大卒業生3,557名
在校生287名(2014年度現在)



1992年



2002年



2012年



新歴史館が2014年5月に開設しました。
(大阪市東区大宮3-16-1)



2014年

教室だより

今年度、都市環境工学科には、1年次75名(5名)、2年次84名(3名)、3年次63名(7名)、4年次65名(4名)で合計287名(19名)の学生が学んでいます。なお、括弧内の数値は女子学生を示します。大学院の社会開発工学専攻における学科出身者は、1年次3名、2年次3名です。一方、教職員は専任10名、非常勤30名、事務スタッフ3名の陣容で教育・研究の指導に当たっています。



学生向け講演会

① 頭井 洋 教授が学部長として学科運営に当たっています。

② 来年度卒業見込65名は、就職活動に取り組んでいます。今年は非常に早く内定を得ています。

学科主催の行事として、2013年9月12日に実施した講演会および現場見学会について報告させていただきます。講演会では、(一社)建設コンサルタンツ協会



都市計画道路大和川緑帯常盤東開削トンネル工事 (3年次)

(JCCA) のご協力を得て、建設コンサルタントの役割や業務内容などについてご講演いただきました。

最後に、質疑応答の時間があり、学生たちは積極的に質問しておりました。

現場見学会は、1年生は2箇所(①人と防災未来センター、②琵琶湖疎水記念館)に、3年生は3箇所(①都市計画道路大和川緑帯常盤東開削トンネル工事、②NEXCO総研緑化技術センター、③おおさか東線西吹田地区高架橋新設他工事)にわかれて現場を見学しました。

参加した学生は、建設現場の魅力や土木技術者の役割を肌で感じているようでした。また、摂士会を通じて、おおさか東線西吹田地区高架橋新設他工事(施工:鉄建建設機)の見学先をご紹介いただきました。この紙面をお借りして、心より厚くお礼申し上げます。



NEXCO総研緑化技術センター (3年次)



おおさか東線西吹田地区高架橋新設他工事 (3年次)

願い致します。

学生には親しみやすい事務員になれるいなと思っております。宜しくお

動いて約3ヶ月が経ちますが私自身、まだまだ未熟なところが多く、先生方や事務スタッフの方々にはご迷惑をおかけしておりますが、今後も精一杯サポート致します。

今回、自分自身が準備室のスタッフとして仕事をできるようになり、学生のとき知ることのなかった準備室スタッフ方のサポートして頂いたことを知ることが出来ました。

大福工業大学を卒業し、大学では化学について学びました。



本橋 悠香梨

はじめのま
から都市環
境工学科の
事務室スタッフになりました。

■ 事務室スタッフ紹介

同窓会報告

摂大・高専合同三三同窓会

山口 雅明（摂大昭和55年卒）

この度、摂南大学土木会におかれましては土木会発足50周年おめでとうございます。

土木会は大阪工業高等専門学校から摂南大学に引き継がれて今年50周年を迎えられます。心よりお祝いを申し上げます。

そのような記念すべき年の平成26年4月26日（土）午後6時より心斎橋「甘の井」で三三同窓会を開催しました。

2期生、3期生、4期生と高専のメンバー15名と井上先生をお招きしまして1年ぶりの同窓会開催でした。

同窓会会場は当初は今話題のあべのハルカスマリオットホテル57階レストラン「Z&A」で予定していましたが予約が取れず「甘の井」になりました。井上先生の御発声による乾杯が始まりとなりました。

昨年9月に日本で初めて特別警戒情報が出されました滋賀県大津市から同窓生の出席をいただいていたので、当日の雨と被害の状況を報告していただきました。出席者の話題は学生時代の思い出話がつきませんが、今回は早期退職者の話や単身赴任者の話が多く出て何か年齢を実感させるものでした。

お久しぶりにお会いしました井上先生も来年傘寿「80歳」を迎えられるとの事で同窓会メンバーは次回先生にお祝いの傘を送る事を約束してお聞きとしました。

最後に土木会の益々のご発展を祈念いたしまして報告を終わらせていただきます。



摂大卒 土木工学科同窓会

遠山 寛（摂大昭和60年卒）

去る平成26年5月17日（土）18日（日）、1泊2日の同窓会旅行を行いました。

行先は兵庫県赤穂市の海に面した露天風呂の宿「銀波荘」です。現地集合でメンバー

（7人）は夫々のマイカーに乗り合せをして駆けつけました。遠くからは九州大分からフェリーに乗って四国経由で5時間かけて到着したメンバーも居ました。卒業後、結婚式以来の約20年ぶり再会もありました。7人衆は学生時代も一緒に活動していた気の合う仲間です。50代になり、それなりの大人になっていますが、学生時代からの話し方はそのままです。

過ぎ行く時間を楽しみながら温泉に入り、夕食のお酒は格別に旨かった。ことは言うまでもありません。部屋では麻雀が始まり、学生時代のままに時間が経ちました。翌日は赤穂城跡に立ち寄り、夫々のマイカーで現地解散しました。次回の現地集合は何処になるのやら。またの再会を楽しみにしています。



左から中山、木村、遠山、新井、野村、本城、日守（後述）にて

技術士会だより

会長 木下 幸佐 (旧大昭和57年卒)

技術士会は今年6月に第10回総会と特別講演会ならびに記念祝賀会を開催しました。総会は滞りなく無事に終了しました。特別講演会では、講師を理工学部都市環境工学科、伊藤教授にお願いし、「地盤の凍結」についてご講演して戴きました。質疑応答が数多くあり、非常に有意義な特別講演会でした。記念祝賀会は校友会山口会長に夢参加して戴き、盛会に終わりました。

技術士会は建設部門、上下水道部門、機械部門に合格された65名の会員で活動しています。摂南大学の合格者数は平成25年度技術士第二次試験で8名、第一次試験で18名でした。過去の合格者数は平成24年度技術士第二次試験で8名、第一次試験で59名、平成23年度技術士第二次試験で12名、第一次試験で11名でした。毎年10名前後が技術士第二次試験に合格しています。しかし、合格者が判明する方は少数です。技術士に合格された方をご存じの方は幹事・新井までお知らせ願います。連絡先：e_arai@toa-const.co.jp

※技術士試験に合格された方は是非とも摂南大学技術士会に入会してください。

※入会は摂南大学技術士会HPから手続きをお願いいたします。

2014年度の就職状況

「暁の黎明期から隆盛期へ」

都市環境工学科 教授 道廣 二利

2014年度の就職数は最終年度を迎えている。卒業予定の学部生は63名で、目下進路決定者数(就職先決定者+通学者)は51名(大学院進学3名)、内定率は81%と非常に高水準となっている。修士修了予定者は3名で内定者は1名である。残りの2名は公務員・協会などで結果待ちである。この時期でのこの内定率は過去に例をみない状況である。

この好調な理由としては、①2011年に発生した東日本大震災の復旧・復興事業②2020年に東京で開催されるオリンピック需要③この業界の新たな人員構成(働き盛りの30歳前後の技術者が極端に少ないことへの是正)④耐震基準を満たさない老朽化した社会インフラの整備などが挙げられる。2・3年前からこの業界の好転は求人企業数・求人数をみても読み取れるが(厳密に判断)、一気に爆発したのが「東京オリンピック」であることは言うまでもない(隆盛期)。因みに昨年同時期における求人企業数および求人数を比較すると、いずれも約1.5倍となっている。更に建

設業の企業数も1999年の60・1万社をピークに年々下降していたが、2007年度の50・8万社(土工協による)をボトムに現在では約52万社と回復していることなどからも読み取れる。しかし、これらの特徴も2019年以降は下降するであろうとの予測は誰しも推測でき、過去の苦い経験を生かした業界の再編・改革が望まれる。

さて、2017年度より就職活動の形態が政府と経団連との合意により大きく変わっている。本年度は前年の12月より解禁されていたものが、2015年度からは同年3月からとなり、企業説明会・学内合同企業説明会などは後例となり、学科内でも本年末までに何らかの対策を講ずる必要がある。在学生諸君には、民間企業だけでなく「公務員(大学院進学)」にも目を向けて頂ければ幸いである。

最後になりますが、先輩諸氏におかれましては、就職や資格取得サポートなどにおいて更なる支援をお願い申し上げる次第であります。

<p>上田 清隆 〒100-0001 東京都千代田区千代田 上田建設株式会社 (代表取締役社長)</p>	<p>橋本 梯造 〒100-0001 東京都千代田区千代田 橋本建設株式会社 (代表取締役社長)</p>	<p>源野 浩 〒100-0001 東京都千代田区千代田 源野建設株式会社 (代表取締役社長)</p>	<p>田中 克己 〒100-0001 東京都千代田区千代田 田中建設株式会社 (代表取締役社長)</p>	<p>平野 康匡 〒100-0001 東京都千代田区千代田 平野建設株式会社 (代表取締役社長)</p>	<p>岸本 洪一 〒100-0001 東京都千代田区千代田 岸本建設株式会社 (代表取締役社長)</p>	<p>札立 重好 〒100-0001 東京都千代田区千代田 札立建設株式会社 (代表取締役社長)</p>	<p>新井 栄作 〒100-0001 東京都千代田区千代田 新井建設株式会社 (代表取締役社長)</p>
<p>足立 博成 〒100-0001 東京都千代田区千代田 足立建設株式会社 (代表取締役社長)</p>	<p>宮守 陵文 〒100-0001 東京都千代田区千代田 宮守建設株式会社 (代表取締役社長)</p>	<p>藤川 陸広 〒100-0001 東京都千代田区千代田 藤川建設株式会社 (代表取締役社長)</p>	<p>小笠原 裕介 〒100-0001 東京都千代田区千代田 小笠原建設株式会社 (代表取締役社長)</p>	<p>小川 芳也 〒100-0001 東京都千代田区千代田 小川建設株式会社 (代表取締役社長)</p>	<p>加藤 正純 〒100-0001 東京都千代田区千代田 加藤建設株式会社 (代表取締役社長)</p>	<p>佐野 正 〒100-0001 東京都千代田区千代田 佐野建設株式会社 (代表取締役社長)</p>	<p>岩崎 央 〒100-0001 東京都千代田区千代田 岩崎建設株式会社 (代表取締役社長)</p>
<p>田中 秀雄 〒100-0001 東京都千代田区千代田 田中建設株式会社 (代表取締役社長)</p>	<p>祝 50周年 摂南大学 土木会</p>		<p>祝 50周年 摂南大学 土木会</p>		<p>祝 50周年 摂南大学 土木会</p>		<p>新田 耕司 〒100-0001 東京都千代田区千代田 新田建設株式会社 (代表取締役社長)</p>
<p>中島 義典 〒100-0001 東京都千代田区千代田 中島建設株式会社 (代表取締役社長)</p>	<p>赤城 健一 〒100-0001 東京都千代田区千代田 赤城建設株式会社 (代表取締役社長)</p>	<p>青木 葉陸典 〒100-0001 東京都千代田区千代田 青木建設株式会社 (代表取締役社長)</p>	<p>飯田 章 〒100-0001 東京都千代田区千代田 飯田建設株式会社 (代表取締役社長)</p>	<p>木下 幸佐 〒100-0001 東京都千代田区千代田 木下建設株式会社 (代表取締役社長)</p>	<p>田中 賢太郎 〒100-0001 東京都千代田区千代田 田中建設株式会社 (代表取締役社長)</p>	<p>井上 英夫 〒100-0001 東京都千代田区千代田 井上建設株式会社 (代表取締役社長)</p>	<p>藤田 孝志 〒100-0001 東京都千代田区千代田 藤田建設株式会社 (代表取締役社長)</p>

摂南大学理工学部都市環境工学科
専任教員一同


大阪府高槻市市池田中町17-8

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-----------------|-----------------|------------------|------------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 小松 健
(代表取締役) | 由井 伸
(代表取締役) | 安永 昭司
(代表取締役) | 奥村 芳行
(代表取締役) | 寺川 一弘
(代表取締役) | 西川 高雄
(代表取締役) | 満川 雄二
(代表取締役) | 正本 実
(代表取締役) | 山本 忍
(代表取締役) | 川勝 誠介
(代表取締役) | 柳瀬 隆夫
(代表取締役) | 林 義寛
(代表取締役) | 田中 基晴
(代表取締役) | 井上 英夫
(代表取締役) | 中野 部雄
(代表取締役) | 本間 祐樹
(代表取締役) | 山口 雅明
(代表取締役) | 大島 正樹
(代表取締役) |
|-----------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-----------------|-----------------|------------------|------------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|

新しい時代。
『人と環境にやさしい』吹付のり枠工法

GIYIM **G7フレーム工法**
G7 FRAME CONSTRUCTION METHOD

▶ METI 登録番号: CG-07210-A



Ecology **ig イビデングリーンテック**

＜iGデザイングループ＞は
環境に配慮した素材のみで組み立てています。

【注】 〒583-0801 摂南大学高槻キャンパス
TEL: 0584-81-8111 FAX: 0584-76-1811 <http://www.igibiden.com/jap/>

ASCO 明日の快適な環境づくりに貢献する
総合建設コンサルタント

Active「活発的」 Speedy「迅速」 Customer「顧客満足」 Demand「計画」

株式会社 **アスコ**

本社 〒160-0006 東京都港区三軒茶屋1丁目10番1号
TEL: 03-6466-1171 FAX: 03-6466-1021

東京支社 〒104-0012 東京都中央区日本橋2丁目7番5号
TEL: 03-44-21-0241 FAX: 03-44-21-0021

神戸支社 〒657-0841 神戸市東灘区南灘町4-15
TEL: 078-671-5611 FAX: 078-671-5641

岡山支店 〒740-0044 岡山県北条市北条2-2
TEL: 073-433-7751 FAX: 073-433-7702

奈良支店 〒640-0002 奈良県中区北内1-14-24
TEL: 056-21-6551 FAX: 056-21-8071

東京支店 〒114-0042 東京都品川区東品川5-11-12
TEL: 03-5749-3274 FAX: 03-5749-3075

【資本金】 資本金100億円 定款 500万円 役員 取締役 社長 佐藤 紀彦 専務 佐藤 貴之 取締役 取締役 取締役 高橋 久雄 取締役 神谷 洋平

大阪市内より30分圏内の
緑豊かなお墓地をご案内いたします。
お墓のことからどんな事でもお気軽におたずね下さい。

お墓の相談コーナー ☎0120 (305075)

(株) 太田石材店



本社 大阪市城東区古市1丁目23番20号
TEL 06-6930-5075

当社推賛霊園

- | | |
|--------------|------------------------|
| 総持寺霊園(足立市) | 祝祭地蔵風地(豊中市) |
| 海国寺風地(吹田市) | 竜の子霊園(奈良市) |
| 海国寺風地(茨城県) | 五ヶ山霊園(柏崎市) |
| 芝生霊園(奈良県) | 龍馬メッセ「アール・ドゥ・リオン」(高槻市) |
| 東本願寺風地別院(北区) | 仏心霊園(四條畷市) |
| 北所霊園(豊後市) | その他公営墓地 |
| 高槻寺霊園(茨木市) | |



建設コンサルタント・建築コンサルタント・情報系・情報管理
大鷹技術コンサルタント株式会社

本社 福山県豊田町豊山1番0099-1
〒717-0802 大阪 TEL 0867-46-3070
FAX 0867-46-3074
URL: http://www.ogc01.co.jp



安全で住み良い街づくりを

総合建設業

株式会社 紙谷工務店

代表取締役社長 紙谷繁夫

本社 大阪府東成区江成東3丁目3番1号
TEL 06-6960-1101(TEL)
FAX 06-6960-9908

支店 高松市三宮町五丁目4番10号

KAIKEN一貫づくりの総合コンサルタント

大規模開発(住宅団地・工業団地) /
土地区画整理事業/建築設計/
環境アセスメント

株式会社 開発計画研究所

業登録

- ・建設コンサルタント 登録番号・建計(第)4364号
- ・一級建築士事務所 登録番号・茨城県第A3563号
- ・測量士 登録番号・第6156401号
- ・建築コンサルタント 登録番号・建計第2349号

代表取締役 井上 忍
(昭和44年1月卒)

事務所：東京・水戸
TEL 03-5828-6855

独自の技術で未来を育むベストソリューションを提供します。

- | | |
|---|---|
| <p>●環境・水</p> <p>●水質汚濁対策(水質浄化施設、排水処理施設等)
●水質汚濁対策(水質浄化施設、排水処理施設等)
●水質汚濁対策(水質浄化施設、排水処理施設等)</p> | <p>●海洋・エネルギー</p> <p>●エネルギー事業(再生可能エネルギー)
●エネルギー事業(再生可能エネルギー)
●エネルギー事業(再生可能エネルギー)</p> |
| <p>●防災・減災</p> <p>●防災・減災(防災計画、防災施設等)
●防災・減災(防災計画、防災施設等)
●防災・減災(防災計画、防災施設等)</p> | <p>●メンテナンス</p> <p>●メンテナンス(設備点検、設備修理等)
●メンテナンス(設備点検、設備修理等)
●メンテナンス(設備点検、設備修理等)</p> |

Service, Speedy, and Best Solution.

川崎地質株式会社



〒100-0037 東京都港区三軒30-1-15
TEL:03-6469-2071 FAX:03-6448-0873
E-mail: kge@kge.co.jp / E-mail: geod@kge.co.jp

公共施設総合サービス業



株式会社 菊田建設工業株式会社

代表取締役 菊田 孝太郎

ISO9001 本 社 〒660-0057
ISO14001 尼崎市平左衛門町18番31号
TEL. (06)6419-2981(代表)

ホームページ: <http://karitakenetsu.com>
三田営業所 三田市天神1丁目2-12
TEL. (079)563-0095

コンクリート製品と建設業を通して、
人々の「安心」「安全」な暮らしの環境造りに貢献する。

業務内容 コンクリート製品(コンクリート管、コンクリート管、コンクリート管)の製造・販売
代表者 菅野誠司 代表取締役社長 菅野 誠

※ 専 業 〒613-0903 京都府吹上区吹上22-1番地
TEL 075-621-0231 FAX 075-621-0909
営業所 京都、奈良、和歌山、徳島、香取、茨城、千葉、東京、大阪、福岡、大分、熊本、鹿児島、沖縄
工 業 建築、工業、農業

KCON カイコン株式会社
<http://www.kcon.co.jp>



感謝の気持ちを未来へ。

建設業許可番号 国土交通大臣 許可 198-219 第22000号
一級建築士事務所登録番号 建築業法第100号 (21) 第1000号
ISO 9001:2008 登録番号 402979 ISO 14001:2004 登録番号 402982

株式会社 桑原組

代表取締役社長 桑原 勲兵

※ 専 業 〒110-1312 東京都荒川区西日暮野4丁目6番22番地
TEL:03-462-2324(総機) / FAX:03-462-2320
大塚営業所 〒114-0002 東京都荒川区西日暮野4丁目6番22番地
TEL:03-462-2324(総機) / FAX:03-462-2320

cosmoteccosmoteccosmoteccosmoteccosmoteccosmoteccosmo

地質調査、各種防災点検
土壌地下水汚染調査、地盤保証
各種構築物健全度調査 等

土に関することならなんでも!!

株式会社 コスモテック

代表取締役 田中 昌明 (48年卒)

本社 〒577-0824 大阪府東大阪市大蓮東1-5-33
TEL: 06-6729-0290 FAX: 06-6729-1790

兵庫支店 〒635-0803 兵庫県北葛城郡広陵町馬見南1-3-18
TEL・FAX: 0745-55-4443

E-mail:cosmotec@pop06.odn.ne.jp

URL:http://www2.odn.ne.jp/cosmotec

cosmoteccosmoteccosmoteccosmoteccosmoteccosmoteccosmo

地域の特性・環境資源を活かした

未来のまちづくり



関西圏に広がるフロントランナーとして
グリーンコミュニティを先導します。

大阪支店

〒142-0081 大阪府大阪市中央区南船場2-3-2 (船場パークビル)

TEL: 06-6266-5931 FAX: 06-6266-5930

関西事業所/西日本事業本部

〒680-0825 兵庫県神戸市西宮区御影1-3-15

TEL: 06-6467-1111(AX) 06-6467-1300

国際航業株式会社

http://www.kkc.co.jp/

真心と技術で創造します



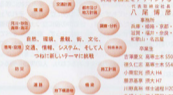
〒180-8582 東京都文京区湯島4-7-19 503号
http://www.daitei.co.jp/

> **大鉄工業**



株式会社 修成建設コンサルタント

快適な国土をデザインする



〒530-0055 大阪市北区野町7番8号 梅田パークビル8F
TEL.06-6367-3800 Mail:scscoms@shusei.co.jp

株式会社 日照技術コンサルタント

建設コンサルタント

道路、河川、緑地及び海岸・海岸
都市計画及び地味計画
下水道、施工管理、発注者支援
測量

測量全般、測量機器 (3D)

代表取締役 市原 久照 (高専52年卒)

〒411-0641 静岡県宇治市御島町月夜3番地の2

TEL. 0774-22-7137 FAX 0774-22-4966

E-mail:zisho-svsm@evb.ecn.ne.jp

http://zisho-engineer.co.jp

支店、営業所：大阪支店・福岡支店・南丹波事務所

地球の未来は 人の未来。

地球の未来は、人々の未来を共に創ることにあります。
地球の未来は、人々の未来を共に創ることにあります。
地球の未来は、人々の未来を共に創ることにあります。
地球の未来は、人々の未来を共に創ることにあります。



東亜建設工業

〒163-1020 東京都練馬区長瀬5-3-3 東研パークタワー11階 http://www.289-const.co.jp



ベストエック株式会社

未来のために今できること。
DAIWAの技術と経験のネットワークが社会に貢献します

■宅地造成設計、土地区画整理設計、道路設計、
公園設計、下水道設計など、土木設計業務全般

大阪市中央区美濃町立町1-24 ストーク見島ビル
TEL 06-6945-5781 FAX 06-6945-5782

代表取締役 木下 幸佐 (阪大57年卒)

HC 21世紀をグローバルに拓く

株式会社 花村コンサルタント

営業登録

- ・建設コンサルタント業 第8462号
- ・地質調査業 第1760号
- ・測量業 第1474号
- ・土壌汚染測定調査機関 第2903-2-30

代表取締役 花村 浩司 (高専C短期47年卒)

本 社 〒611-0943 京都府宇治市小倉町南郷5-8

T E L 07747421-5067 F A X 07747421-5068

大阪事務所 〒542-0012 大阪市中央区南船場1-3-4 船研ビル301

T E L 0937674-7438 F A X 0937674-7439

充実した生活の中で、私達はこんなことを考えています!

テーマ「将来、社会貢献するために」

未来のため、自分にできること

2年生 加藤 翼



私は2年生になり、この都市環境工学科で学ぶべきこと、学ばないといけないことを理解し始めました。最初は軽い気持ちで、この土木という専門的な分野の扉を開けました。土木の仕事の重要性、難しさにたじろぐ時もあり、くびけそうになったこともありました。しかし、学科で学んでいくうちに、

その重要性を深く受け止められるようになり、今でもがんばっています。道路や橋などは、ゼロから人間の手で造られたもので、半永久的に残るので、造った人がいなくなってもずっと世の中の役に立つ仕事、それが土木であり、すばらしい仕事だと思います。世の中の役に立つ土木という道で活躍するために自分にできることは、受け身にならず、意図的にすべての物事に取り組み姿勢を貫くこと、土木の仕事をすることに誇りをもつことだと思います。学生という限られた時間の中で、学べることをたくさん学び、社会貢献すれば、これからの未来も明るくなり、人の笑顔も明るくなるのではないのでしょうか。

自分の視野を広げる

1年生 朝谷 由惟



将来、社会貢献するために、私は都市環境工学科で人々の暮らしの支え方を学びたいと思います。道路、橋やトンネルなどの、人々の暮らしの基盤となる大きな建築物に強く興味をもちました。これをきっかけに、交通施設の計画・管理を知る都市、自然災害から人々を守る技術や環境問題の対策まで、学びたいことがたくさんありました。

私が考える社会貢献とは、「社会人としてしっかり働くこと」と 생각합니다。知識や技術を身につけ、日々能力を磨き成長し続けることで、仕事を通じて社会に良い変化を与えられると考えています。安全で快適な暮らしができるように都市建設に関わりたいですし、建設をするだけでなく、地球環境にも配慮し数百年先の未来も視野に入れた持続可能な都市づくりがしたいです。人々の暮らしを支えるという点で大きな社会貢献であると思います。私は、毎日の講義を大切に、知識や技術を身につけること、多くの人と積極的に関わり、自分の視野を広げることを心掛けています。

自分の成長を社会貢献に繋げたい

4年生 宮本 杏樹



私は大学三年生の夏休みに、摂南大学夏海外派遣プログラムの中のカンボジアの文化体験プログラムに参加しました。二週間という短期カンボジアで、現地の子供たち、高校生や大学生と交流を深めてきました。さらに、地帯博物館でカンボジアの歴史を学び、

世界遺産のアンコールワットにも行きました。電気やガスが限られた時期しか通らない村での生活は、日本で経験したことのない生活でした。現地の人たちは毎日笑顔で元気に生活していて、私たちが日本でどれほど恵まれた生活をしているのかを体感しました。私は、豊かな社会である奈良の持続に貢献するためにも、海外で自分自身が感じた経験を忘れず、やるべきことをしっかりとやり遂げるようにすることで、自分の成長を社会貢献に繋げたいです。

学科で学んだことを最大限に活かす

3年生 島村 凌俊



高校生の頃、私は土木の仕事について触れる機会があり、土木関係の仕事がおもしろそうだと思い、その勢いそのまま学科に入学することを決意しました。土木の分野に興味を持ったときからある程度は調べたりもしてましたが、入学して土木の世界は自分が思っていた以上に広いということを知りました。

私は、この2年半の間で、様々なことを経験してきたつもりです。将来、土木の分野で技術者として活躍し、社会に貢献するための知識をたくさん学びました。しかし、知識や経験にこれで十分だということはないので、これからもっと努力していきたいと思っています。土木は、橋や道路など人々が利用するものを、安心して安全に利用できるように構造物を提供する、維持管理することだと考えています。将来、学科で学んだことを最大限に活かして社会貢献したいです。

編集後記

このページは私たち大学院生が企画し、作成したものです。ここでは、先生方、OBやOGだけでなく学生や学生のご家族にも親しみのある情報になるように、学生自身の考えや意見を主に掲載しています。現在、本学科には287名の学生が在籍しております。そこで、学科内で勉学だけでなく探究心のある学生を発見し、在校生を代表して本学科をPRしていただきます。摂南大学土木会が今年で創立50周年を迎えるということで、なにが都市環境工学科に関することで書いていただこうかと思い、「将来、社会貢献するために～都市環境工学科で何を学ぶか～」というテーマを選びました。3回生と4回生は、これまで学んできたことをどう社会貢献に生かしていくか、しっかりとイメージを持っていました。1回生と2回生は、これからどのようなことを学んでいけば社会貢献ができるか、よく考えていました。最後に、このページの情報にご協力してくださった先生方やアンケートに答えてくださった学生の皆様へ、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。編集責任者 川口 雄大、山中 広太、埴田 寛志



この冊子は、環境負荷削減のために印刷に使用したインクは、すべて大豆由来の植物性インクを使用しています。また、大塚製紙(株)が環境にやさしい印刷インクを開発し、環境にやさしい印刷インクを使用した印刷物の生産に貢献しています。FSC®認証商品を使用しています。